

項目		説明
試料・情報の	研究課題名	肝がん診断のバイオマーカーの開発研究
利用目的 及び	研究目的	ラミニンが新たな肝がんの血液バイオマーカーとなりうる可能性を肝がん、良性肝疾患の患者血清と健常人血清を用いた測定で評価する。
利用方法	研究期間	2016年2月12日から2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	越川直彦
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実 施診療科/部局等 共同研究の場合、共 同研究機関および 各施設での研究責 任者	金沢大学大学院医薬保健研究域 医学系 教授 金子周一 アボットジャパン 総合研究所 所長 吉村 徹

